

地域社会との緊密な連携を築く

地域とともに健やかな子どもを育むPTA活動

瀬戸市立東山小学校PTA

1 はじめに

東山小学校は、瀬戸市の北西部に位置し、その学区は尾張旭市と名古屋市にまたがって広がる愛知県森林公園に隣接している。昭和47年に開校し、今年度で52年目を迎える。校区周辺は住宅地となっており、10年前は児童数が1,000名に迫る状況であったが、その後は減少傾向が続き、令和5年度の児童数はその時の約半数となっている。本校では、学校教育目標「心豊かによく学びよく



【運動場から見た校舎】

遊ぶ東山っ子を育成する」のもと「ひとみ輝き笑顔あふれる学校」を目指し、教育活動を行っている。さらに、令和4年度からコミュニティ・スクールを設置し、地域とともにある学校づくりを目指している。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校のPTAは、学校教育の充実、PTA会員同士のつながりと学び、教育環境整備を目指し、児童の心豊かで健やかな成長を支えてきた。しかし、児童数の減少や夫婦共働き家庭の増加に伴い、PTA活動の参加に負担を感じるという意見や委員の選出に苦勞するという意見が多く聞かれるようになった。令和元年度末からのコロナ禍での活動自粛の中、今までのPTAの在り方を大きく見直すよい機会と考え、組織と活動の見直しに取り組むことにした。また、4年度より設置されたコミュニティ・スクールで地域協働活動を取り入れ、「できる人が、できるときに、できることをやる」コンセプトをもとに、役員だけに負担がないように地域全体で児童を見守る活動を進めていくことにした。

(2) PTA活動の組織と地域学校協働活動の概要

総務部・・・運営	役員会・校外研修会参加	学校行事の補助
生活部・・・	学校花壇の整備、登下校の見守り	
研修部・・・	研修会（学校の様子の動画撮影、配信）	登下校の見守り
広報部・・・	広報誌作成	
◎地域学校協働活動・・・	地域との連携・協働	様々なボランティア活動

3 実践活動の概要

(1) 組織の見直し・役割の分散化

- 副会長の次に会長という2年間の縛り
→ P T A役員・委員の任期はすべて1年（再任希望あり）
- 仕事内容の分散化
→ 学校や瀬P連などの会に、家庭教育委員や会長に限らず総務部員がそれぞれ都合のつく日時に参加。

(2) P T A活動の精選・スリム化

メール・ライン等を使って連絡を行い、集まる活動は必要最小限にした。また、地域協働活動と連携できることを増やしていった。

- 総務部** → 役員会を年7回から4回に削減（来年度3回の予定）
- 生活部** → 花壇の土づくりは学校の職員で行い、活動日を削減
登下校見守りは、日時・場所・回数設定をなくして実施
- 研修部** → 年に4回の研修会を回数、内容にこだわらずに実施
コロナ禍は児童の活動の動画配信、今年度は「給食試食会」の予定
- 広報部** → 広報発行を年度末1回に削減。広告制作の仕事をしている保護者にレイアウト等を依頼し、活動内容を大幅軽減。

◎地域協働活動と連携・協働（各種ボランティア）

スクールガード・花壇作り・図書（読み聞かせ、ブックカバーかけ、掲示）・ベルマーク活動・環境整備・校外学習引率・運動会など

(3) 活動の実際

① P T A奉仕活動

コロナ前は秋にエコプログラムという名のイベントを行っていたが、企画運営、準備片付けなど負担が非常に大きく、P T A役員・委員を引き受ける人が減ってしまう要因の一つになっていた。「エコ」という名だけが残り、手作りパンやカレーを食べるなどイベント化していたこともあり、原点に帰って元々行っていた奉仕活動に形を変えることにした。



【エアコン掃除をしている様子】

令和3年度は児童が使用しているトイレ掃除を、令和4、5年度は教室のエアコン・

扇風機掃除を行った。今年度は地域協働活動と連携して役員以外の参加者も募集し、たくさん的人数で普段なかなか手が届かない箇所を丁寧に掃除することができた。各教室のエアコン内部の掃除は担任にとっても大変な作業であるため、とても助かるという声が聞かれた。活動は秋の土曜日（午前中）に行い、以前と比べても圧倒的に短時間で終わることができ、かつ、やり遂げた達成感も得ることができた。

② 学校花壇の整備

校舎南側に花壇が3か所あり、毎年P T A生活部が3月と11月に苗の植え替えや花壇整備を行っている。以前は苗植えの1週間前に、肥料や腐葉土を入れる土づくりを行っていたが、これらは天候に左右されるため、予定通り進まないこともあった。そこで、土づくりは学校の職員で行って2週連続での活動をなくし負担を減らすことにした。花壇の水やりは生活部員が順番で回し、特に夏休み土日や行事をもたない期間もしっかり整備していただいている。いつもきれいな花が咲き、心和む風景の一つとなっている。今後は、地域協働活動で花壇ボランティアと協力しながら活動していく予定である。



【心を和ませてくれる学校花壇】

③ 研修部の活動の工夫

以前は、研修部が給食試食会と年3回の研修会を計画し実施していた。コロナ禍の中でそれが実施できなかつたため、動画配信を行うことにした。普段は見るできない様子をより多くの保護者に知ってもらいたいと考え、自己肯定感を高める取り組みとして中学校ブロックで行っている「ハッピースマイルタイム」の活動や給食、縦割り班活動などを配信した。研修部員が動画を撮影し、それをタブレットで編集して限定公開し、多くの人に見ていただくことができた。研修部員にとっても教室に入って撮影する経験は、その場の空気や児童の様子を肌で感じることができ、貴重なものとなった。今年度は、準備等負担のない給食試食会を行うことにしている。



【撮影した実際の動画より】

④ 広報「ひがしやま」の発行

P T A広報誌を年に1回の発行に減らした。現在は日々の学校の様子などホームページにてすぐに見ることができる。では広報に何を載せるのか、その意義について話し合い、6年生児童の言葉や先生紹介など、ホームページには掲載しない内容を中心に作成した。特に、担任の立場以外の職員、例えば用務員さん、支援員さん、スクールカウンセラー、事務職員など、様々な職員が児童を支えていることを知ってもらえた意義は大きいと考える。ここ数年、広告制作の仕事をしている保護者に作成を手伝ってもらい、活動内容や時間を大幅軽減することができている。



【広報 職員紹介ページ】

⑤ スクールガード（登下校の見守り）

地域の方が子どもたちの登下校の見守りをしてくださっている。その活動とともに、PTAでも登下校の見守り活動を行っている。当番の日時や場所、回数は特に決めず、部員の都合のよい日時や場所を選んでいる。周りに大人の目がたくさんあることで、子どもたちが安心して過ごせる地域であるとよいと考える。



【登下校の見守り】

⑥ 地域協働活動との連携・協働

地域コーディネーターと協力して様々なボランティアを募集し、子どもたちの教育活動に関わっていただく機会をつくっている。また、地域に回覧板を回してコミュニティ・スクールの仕組みや地域協働活動での取組を理解していただき、地域の方から「できることがあったら参加したい」との声をいただき始めている。もともと読み聞かせやベルマークはOGの方にも多く参加していただいていたが、今回の働きかけで、おじい様おばあ様や地域の方、本校出身の大学生や高校生まで広がってきた。その方々を大切に、今後も地域で子どもたちの成長を見守る輪を広げていきたいと思う。



【家庭科ボランティア】



【校外学習ボランティア】



【1年生見守りボランティア】



【読み聞かせボランティア】



【ベルマークボランティア】



【運動会ボランティア】

4 おわりに

PTAの働き方改革と地域との連携・協働という観点で活動を進めてきたが、今後もより良い方法を生み出し、「やってよかった」という充実感を得られるようなPTA活動にしていきたい。そのために、さらに地域協働活動を充実させて、すべての保護者の方、地域の方が「できるときに できる人が できることを行う」雰囲気为学校や地域にしていきたい。そして、学校、家庭、地域全体で子どもたちの健やかな成長を育んでいきたい。